

C9K1 V6 580 C9KA V6 580

別体型ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

本説明書に記載のリアカメラ (C9K1 V6 550) は別売品です。



ドライブレコーダー機能ガイド

本機は車両前方または車両後方（別売のリアカメラ取り付け時のみ）の映像を録画して、本機の microSD カードに保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。（→ P.16）

録画機能について

車両のエンジンスイッチを ACC またはオンにしている間は、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント（衝撃）記録）。

駐車中、車両に大きな衝撃を検知すると、検知後の映像を録画します（駐車録画）。

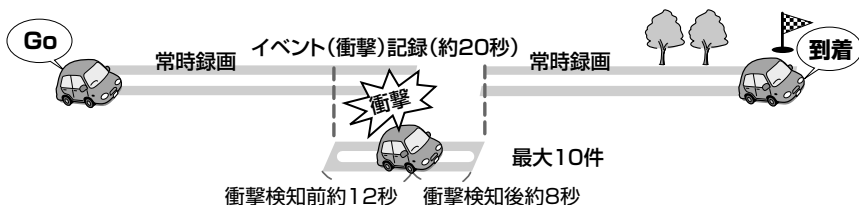
■ 常時録画

本機の電源オンからオフまで常に録画しています。



■ イベント（衝撃）記録

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知する前の約 12 秒と検知後の約 8 秒を保存します。



■ 手動録画

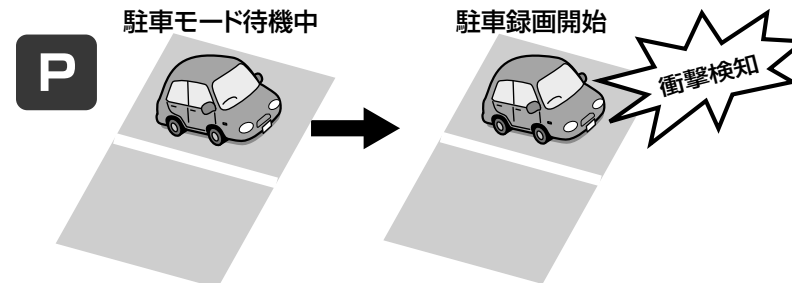
[/] ボタンを 1 秒以上押しと、録画を開始します。[/] ボタンを 1 秒以上押し前の約 12 秒と 1 秒以上押し後の約 8 秒を保存します。

■ 静止画記録

[/] ボタンを押すと静止画を記録します。

■ 駐車録画

駐車場などに車を停めてエンジンスイッチをオフにすると駐車モードの待機が始まります。車両に衝撃を検知すると録画を開始*します。駐車録画は「OFF」に設定することもできます。



* 録画待機開始時間 / 録画待機終了時間の設定した時間の間に衝撃があった場合は録画できません。



録画時のマイクの音声記録を設定する

本機の [/] ボタンを押すと、録画時にマイクの音声記録するかしないかを設定できます。押すたびに「ON」 / 「OFF」が切り替わります。「ON」に設定されると音声 LED（緑色）が点灯します。

録画ファイルの再生と設定の変更について

本機で録画したファイルの再生や、設定の変更は、スマートフォンアプリ「withDR」（→ P.23）、または、パソコン用の専用ビューアソフト「DRIVE REVIEWER」（→ P.34）で再生、変更することができます。

本書の見かた



表記	説明
(→ P.12)	本書の参照するページを表しています。
「動画画質」	設定項目の名称や本書のタイトル名などを表しています。
[ / ]	本機のボタン名を表しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。
お知らせ	手順の補足説明や制限事項について説明しています。

目次

ドライブレコーダー機能ガイド	2	再生画面の操作	28
録画機能について	2	再生するファイルを検索する	29
録画時のマイクの音声記録を設定する	3	ライブで映像を見る	30
録画ファイルの再生と設定の変更について	3	スマートフォンアプリで設定を変更する	31
本書の見かた	4	本機の設定を変更する	31
安全に正しくお使いいただくために	6	Wi-Fi 設定を変更する	33
使用上のご注意	8	ビューアソフトを使う	34
電波について	8	DRIVE REVIEWER の動作環境	34
本機について	9	ビューアソフトをインストールする	34
本機で利用できる SD カードについて	11	microSD カードのインストーラーを消去してしまったときは	35
GPS について	11	アプリケーションを起動する	35
本機のお手入れ	11	Windows 版の操作	35
本機の異常にお気づきのときは	11	データを読み込む	35
各部の名称とはたらき	12	画面の操作	36
LED/ 報知音による通知	13	Mac 版の操作	41
電源をオン / オフする	15	データを読み込む	41
電源をオンにする	15	画面の操作	41
電源をオフにする	15	Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む	45
本機の電源のみオフにする	15	microSD カードのデータをパソコンにバックアップする	46
本機の日付と時刻について	15	バックアップする	46
本体初期設定について	15	バックアップした映像を見る	49
microSD カードを入れる / 取り出す	16	microSD カードのデータを保護 / 保護解除する	50
録画する	17	microSD カードのデータを削除する	51
画質について	17	ビューアソフトで設定を変更する	52
録画時間 / 記録枚数の目安	18	本機の設定を変更する	52
録画機能について	19	設定した内容を初期化する	56
常時録画	19	microSD カードをフォーマットする	57
イベント (衝撃) 記録	19	よくある質問	58
手動録画	20	主な仕様	63
静止画記録	20	ソフトウェアについて	64
駐車録画	21	商標 / ライセンス	74
フォルダ / ファイル構成	22	保証とアフターサービス	75
スマートフォンアプリを使う	23		
インストールする	23		
動作環境	23		
本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する	24		
動画 / 静止画を再生する	26		
リストから再生する	26		
地図から再生する	27		

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

警告

● 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

● 異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、安全な場所に車を停車し、microSD カードを抜いた後、必ずお買い上げの販売店に連絡する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

● 故障や異常な状態のままで使用しない

画像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

● 運転者は走行中に操作したり、表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

● 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。

● microSD カード挿入口に手や指を入れない

ケガの原因となります。

● microSD カードは、お子様に触れさせない

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 危険な運転はしない

本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

● コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意

- 本機に、強い力やショックを与える、落とすなどはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- 本機は直射日光が当たると、高温になり、火傷をする可能性があります。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。

使用上のご注意

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（証明を受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用するると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解 / 改造すること
 - 本機に表示されている認証表示（適合マーク及び認証番号）を消すこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、販売店にご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

本機の周波数表示と意味は下記の通りです。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

DS/OF : DS-SS、OFDM変調方式を表します。

4 : 電波干渉距離は40mです。

: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。

本機について

- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏期については車内が高温になることがありますので窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- コードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象*が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



*ブルーミング現象とは高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生することです。

- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保存ができないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 本機の本体が適切に固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合
- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号の状態が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD カードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンスイッチをオフにし、microSD カードを抜いて必要なデータをパソコンに保存するなどの対応を行ってください。
- 動作温度範囲内での使用にて本機が熱くなる場合があります。本機の動作により発熱しているだけで、故障ではありません。動作温度範囲を超えた環境での使用は、故障の原因となりますので動作温度範囲内で使用ください。
- 可動部や操作部、microSD カード挿入口に無理な力を加えないでください。故障や破損、両面テープ剥がれの原因となります。
- 本機は防水仕様ではありません。本機に雨などがつかからないようご注意ください。
- 販売店にて、車両の点検、修理をさせていただく際、お客様の録画データを保護するため、本機の録画を停止させていただく場合があります。
- 一部の車両では、映像に車両部品などがガラスに反射（別売のリアカメラを取り付け時は車両部品や荷室にある物などがリアガラスに反射）し、映り込む場合があります。

- リアカメラ（別売）の映像は、車両のリアガラス熱線が映り込む場合があります。
- トンネル出口など暗い所から明るい所へ移動した際に、映像の白飛びが起きる場合があります。
- リアガラスに水滴が付いているとき、汚れているときなどは、映像が見えにくくなる場合があります。
- リアガラスが曇っていたり、汚れている場合は、リアデフロスターやリアワイパーを併用してください。
- リアガラスにフィルムや、ステッカー等を貼り付けしないでください。映像が見えにくくなる場合があります。
- 車両バッテリーの状態により、アイドルストップからのエンジン始動時に本機が再起動する場合があります。
- microSD カードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（録画 LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD カードの抜き挿しを行うと、microSD カードが破損するおそれがあります。
- microSD カードのデータへのアクセス中（録画 LED が点灯中）は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。
 - 本機に microSD カードを正しく挿入していない場合
 - microSD カードの破損、故障、寿命等で正常な記録や読み出しができない場合
 - 本機から microSD カードを抜いた場合
 - 本機に付属の microSD カード以外を使用した場合
 - 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
 - 事故や水没などで本機および microSD カードが損傷を受けた場合
 - 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
 - フロントガラスおよびリアガラスの曇りや雨、雪などで本機の視界がふさがれた場合
 - 上書き保存の設定が「OFF」の場合
 - 車両バッテリーの状態により、アイドルストップからのエンジン始動時に本機が再起動した場合
- microSD カードは、半永久的に記録を保持できるものではありません。大切な録画データは、パソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を録画 / 記録することを保証したものではありません。

本機で使用できる SD カードについて

- 本機に付属の microSD カードを使用してください。付属品以外では正しく動作しないことがあります。
- microSD カードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- microSD カードのフォーマットは 57 ページの「microSD カードをフォーマットする」の操作にしたがってフォーマットを行ってください。他の方法でフォーマットを行うと本機で使用できない、または、映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- microSD カードには寿命があり、長時間使用すると書き込みや削除ができなくなる場合があります。交換を促すアナウンスが出たら、お買い上げの販売店で新しい microSD カードを購入していただき、交換することをおすすめいたします。
- 本機とパソコン以外で本機に付属の microSD カードを使用しないでください。他の機器で使用すると本機で正しく動作できなくなる可能性があります。

GPS について

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2 層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群衆地帯
 - 密集した樹木の間
- 本機の GPS アンテナはフロントカメラに内蔵されています。
- GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。
- GPS を正しく受信できないときの録画や記録ファイルは時刻情報が正しく表示されません。（→ P.15）

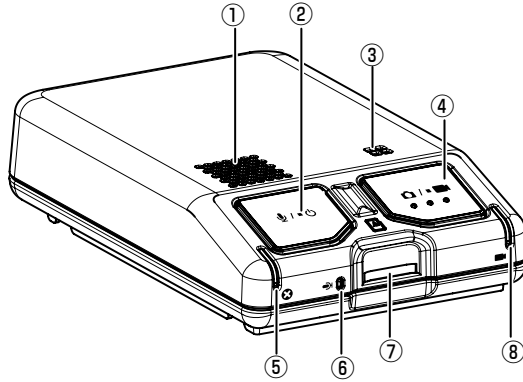
本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- カメラレンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず 58 ページの「よくある質問」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店にてご確認ください。

各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	スピーカー	音声ガイダンスや報知音を出力します。
②	[/] ボタン	電源オフ時に 1 秒以上押す：電源オンになります。 電源オン時に 3 秒以上押す：電源オフになります。 押す：押すたびに音声記録設定のオン/オフを切り替えます。
③	マイク	録画中の音声を収録します。
④	[/] ボタン	録画中に押す：静止画を記録します。(→ P.20) 録画中に 1 秒以上押す：手動録画を開始します。(→ P.20)
⑤	エラー LED	本機がエラー状態のときに橙色で点灯します。
⑥	音声 LED	音声記録設定がオンのときに緑色で点灯します。
⑦	microSD カード挿入口	microSD カードを挿入します。
⑧	録画 LED	録画中に緑色で点灯します。

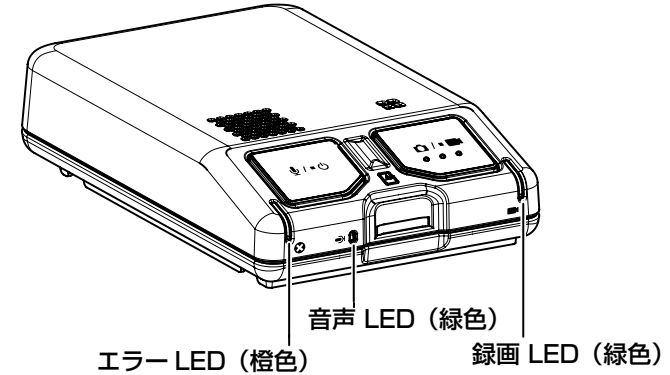
お知らせ

- 本機には G センサーが内蔵されています。本機に衝撃を与えたり、傾けたりすると G センサーが検知してしまうことがあります。

LED/ 報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。

- 報知音の音量は変更することができます。設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。



■ 報知音

条件	報知音	LED	
		録画 (緑色)	音声 (緑色)
常時録画の開始	ピコン (↑)	点灯	—
録画の停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画の開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録の開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
駐車録画の開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画の停止	ピコン (↓)	消灯	—
音声記録の設定を「ON」にしたとき	ブツ	—	点灯
音声記録の設定を「OFF」にしたとき	ブツ	—	消灯

■ 報知音エラー通知

条件	報知音
保存できる最大ファイル数に達しているため録画または記録できないとき	ダダダダ
microSD カード内のすべてのファイルが保護されているため、録画または記録ができないとき	

■ 音声通知

音声ガイダンス	状態
駐車録画があります	駐車録画されたファイルがあるとき

■ エラー時の通知

音声ガイダンス	条件	報知音	エラー LED (橙色)
SD カードがありません※	microSD カードが挿入されていない	—	点灯
SD カードの初期化が必要です※	microSD カードが正しく動作しない	—	点灯
SD カードエラーです※	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できない microSD カードが挿入されている microSD カードに異常がある microSD カードの空き容量が不足している 	—	点灯
録画を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> 温度異常 カメラが正しく接続されていない その他の異常 	ピコン(↓)	点灯
ドライブレコーダーに異常があります※	<ul style="list-style-type: none"> カメラが正しく接続されていない その他の異常 	—	点灯
静止画記録ができませんでした	静止画記録を失敗した	—	—
本体初期設定が未実施です	本体初期設定が完了していない	—	点灯
衝撃検知を停止します	本体初期設定で設定した本機の角度や取り付け位置が変更された (角度や位置が戻ると「衝撃検知を再開します」と音声で通知します。)	—	点灯
SD カードの交換推奨時期です	SD カードの寿命が近づいたとき	—	点灯

※エンジンスイッチを ACC またはオンにしたときに音声ガイダンスが流れ、3 分後も条件が改善されていない場合は、再度通知します。

お知らせ

- エラー LED は異常が解除されるまで点灯したままです。
- エラー時の音声ガイダンスは本機の設定「通知音量」を「OFF」に設定していても、「3」の音量で通知されます。
- エラー通知の音声ガイダンスについての対処は 62 ページをご覧ください。

電源をオン / オフする

電源をオンにする

車両のエンジンスイッチをオンにすると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、録画 LED (緑色) が点灯し、常時録画が始まります。

電源をオフにする

車両のエンジンスイッチをオフにすると、本機の電源がオフになります。本機の電源がオフのときは録画 LED が消灯します。

本機の電源のみオフにする

車両のエンジンスイッチが ACC またはオンのときに [🔊 / 🔇] ボタンを 3 秒以上押し続けてください。

本機の電源のみをオフにした状態でエンジンスイッチをオフにすると、次にエンジンスイッチをオンにするまで、駐車録画機能はオフになります。

■ 手で電源をオンにするには

[🔊 / 🔇] ボタンを 1 秒以上押し続けてください。
電源がオンになると常時録画を開始します。

お知らせ

- 駐車録画機能は、本機の電源のみをオフにした状態でエンジンスイッチをオフにしてもはたらかせません。
エンジンスイッチをオンにしてドライブレコーダーの電源をオンにしてからエンジンスイッチをオフにすると駐車録画機能がはたらくようになります。

本機の日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画ファイル、静止画ファイルのファイル名として使用されます。日付と時刻は、GPS を正しく受信すると自動で設定されます。

本体初期設定について

本機を取り付けた後に、本体初期設定が必要です。
本体初期設定は、カメラの接続状態と G センサー基準値を学習させるためのものです。
本体初期設定は、お買い上げの販売店にて行っていますので、お客様自身での設定は不要です。

お知らせ

- 本体初期設定が正しく設定されていないと、次の状態になることがあります。
 - イベント (衝撃) 記録、駐車録画が動作しない
 - リアカメラ (別売) を取り付けていても、フロントカメラの映像しか録画されない

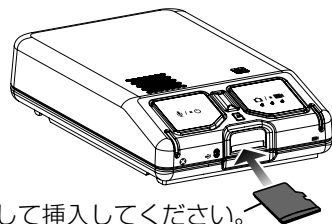
microSD カードを入れる / 取り出す

お知らせ

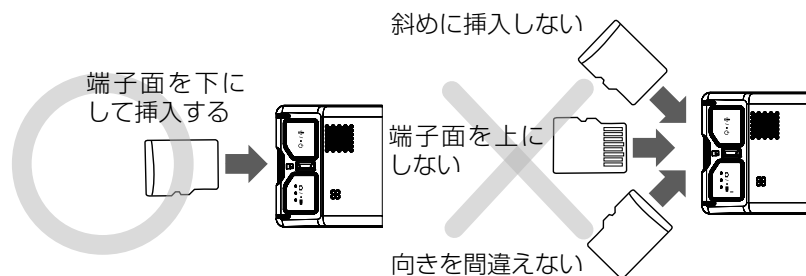
- microSD カードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- microSD カードを挿入しないと、本機は動作しません。microSD カードの入れ忘れにご注意ください。

■ microSD カードを入れるには

本機の電源がオフのときに付属の microSD カードを端子面を下にしてカチッと音がするまで挿入口に挿入します。
microSD カードの向きに注意してください。



端子面を下にして挿入してください。



■ microSD カードを取り出すには

- 1 本機の電源がオフ (→ P.15) になっている (録画 LED が消灯している) ことを確認する
- 2 microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出たら引き抜く

お知らせ

- 録画 LED が点灯しているときに microSD カードを取り出すと microSD カードのデータが破損することがあります。

録画する

本機は、電源オン時に常時録画、イベント（衝撃）記録、手動録画、静止画記録の機能があります。

エンジンスイッチオフ時に駐車録画の機能があります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画できません。
 - microSD カードが挿入されていないとき
 - スマートフォンアプリを起動して本機と Wi-Fi 接続しているとき
 - イベント（衝撃）記録、手動録画、駐車録画では、ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、保存できるファイル数が最大になったとき
- 常時録画と静止画記録はファイルの上書き設定はありません。ファイルの古い順に上書きします。

画質について

本機は動画または静止画を録画 / 撮影するときの画質を設定することができます。

■ 画質の種類（解像度）

最高画質（UXP） / 高画質（XP） / 標準画質（SP） / 長時間画質（LP）

- お買い上げ時は「標準画質（SP）」に設定されています。
- 画質設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。

録画時間 / 記録枚数の目安

お知らせ

- 録画時間と記録枚数は、microSD カードに保存されているファイルにより異なります。
- 大切なデータはすぐにパソコンなどへバックアップを行ってください。

録画時間

カメラ	画質	解像度	microSD カード容量 16GB
フロントカメラのみ	最高画質 (UXP)	1920x1080	2 時間 50 分
	高画質 (XP)	1920x1080	3 時間 30 分
	標準画質 (SP)	1920x1080	5 時間 50 分
	長時間画質 (LP)	1280x720	9 時間 20 分
フロントカメラと リアカメラ (別売)	最高画質 (UXP)	1920x1080	1 時間 20 分
	高画質 (XP)	1920x1080	1 時間 40 分
	標準画質 (SP)	1920x1080	2 時間 50 分
	長時間画質 (LP)	1280x720	4 時間 40 分

最大録画ファイル数

録画種類	microSD カード容量 16GB
イベント (衝撃) 記録	10
手動録画	20
駐車録画	20
静止画記録	100

録画機能について

常時録画

エンジンスイッチがオンになると、本機の電源がオンになり、常時録画を開始します。常時録画の録画時間は、画質の設定によります。

- 録画ファイルは約 2 分ごとに 1 ファイル保存されます。

お知らせ

- microSD カードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

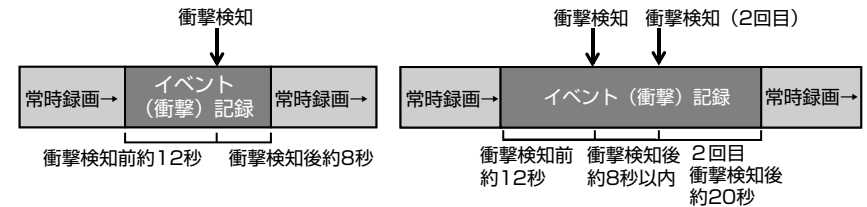
■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。リアカメラ (別売) 取り付け時は「REAR」-「NORMAL」フォルダにも保存されます。
(→ P.22)

イベント (衝撃) 記録

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント (衝撃) 記録を開始します。

- イベント (衝撃) 記録の記録時間は、衝撃検知前の約 12 秒と衝撃検知後の約 8 秒で 1 イベント 20 秒となります。イベント (衝撃) 記録が終了すると常時録画に戻ります。
- イベント (衝撃) 記録が終了する前にさらに衝撃を検知するとそこからイベント (衝撃) 記録が 20 秒延長されます。1 ファイルに記録される延長時間は最大約 60 秒です。60 秒を超える場合は、次のファイルとして記録されます。
- 衝撃を検知する感度を設定変更することができます。設定値は 1 ~ 5 で、1 (大きな衝撃で検知します) ~ 5 (小さな衝撃で検知します) となります。お買い上げ時は「3」に設定されています。感度設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。



お知らせ

- イベント (衝撃) 記録は最大 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き保存 (イベント)」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 10 ファイルを超えると記録は開始されません。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

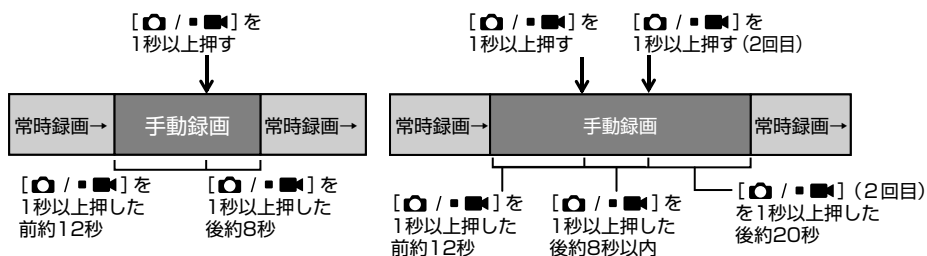
microSD カード内の「EVENT」フォルダに保存されます。リアカメラ (別売) 取り付け時は「REAR」-「EVENT」フォルダにも保存されます。

(→ P.22)

手動録画

[/] ボタンを 1 秒以上押すと、手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

- 手動録画の録画時間は [/] ボタンを 1 秒以上押す前の約 12 秒と 1 秒以上押した後の約 8 秒で約 20 秒となります。
- 手動録画が終了する前にもう一度 [/] ボタンを 1 秒以上押すと、そこから手動録画が約 20 秒延長されます。1 ファイルに記録される延長時間は最大約 60 秒です。60 秒を超える場合は、次のファイルとして記録されます。



お知らせ

- 手動録画は最大 20 ファイルまで保存されます。
- 20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き保存（手動）」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。リアカメラ（別売）取り付け時は「REAR」 - 「MANUAL」フォルダにも保存されます。
(→ P.22)

静止画記録

[/] ボタンを押すと、静止画が記録されます。

お知らせ

- 静止画は最大 100 枚まで保存されます。
- 100 枚を超えると古い日時のファイルから順に消します。
- 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

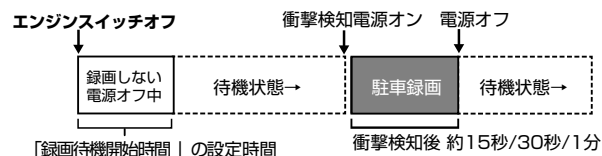
■ 静止画ファイルの保存場所

microSD カード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。リアカメラ（別売）取り付け時は「REAR」 - 「PICTURE」フォルダにも保存されます。
(→ P.22)

駐車録画

駐車場などでエンジンスイッチをオフにすると本機は待機状態になります。待機中に車両への衝撃を検知すると、数秒後に駐車録画を開始し約 30 秒（お買い上げ時の設定）録画します。

- 駐車録画の録画時間は、衝撃検知から約 15 秒/30 秒/1 分から選べます。録画時間の設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。
- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画ははじまります。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。設定値は 1～5 で、1（大きな衝撃で検知します）～5（小さな衝撃で検知します）となります。お買い上げ時は「3」に設定されています。感度設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。



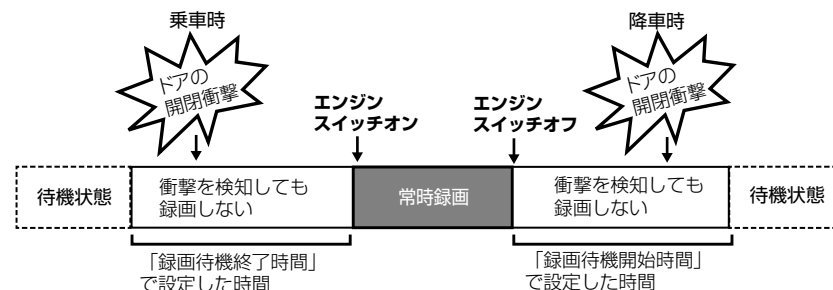
お知らせ

- 車両のバッテリーの劣化などにより、バッテリー電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。
- 駐車録画は最大 20 ファイルまで保存されます。20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き保存（駐車）」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画は開始されません。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンに保存してください。
- 駐車録画では、録画を終了する前にさらに衝撃を検知しても録画の延長は行いません。

■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

駐車録画は乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画が動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、録画を開始しないようにするため、駐車録画を一定時間無効にすることができます。

- 「録画待機開始時間」と「録画待機終了時間」のお買い上げ時の設定は、「録画待機開始時間」が「降車 30 秒後から」、「録画待機終了時間」は「乗車 30 秒前まで」です。設定については、「スマートフォンアプリで設定を変更する」(→ P.31) または、「ビューアソフトで設定を変更する」(→ P.52) をご覧ください。



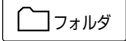
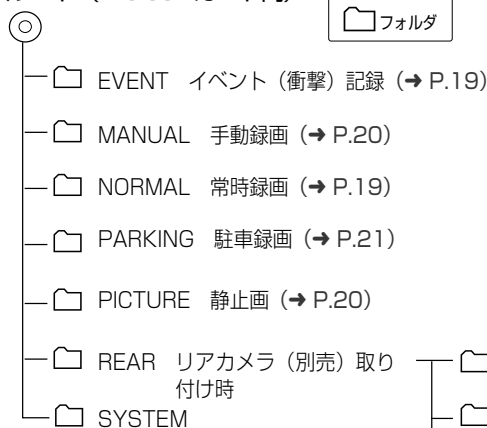
フォルダ / ファイル構成

microSDカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

お知らせ

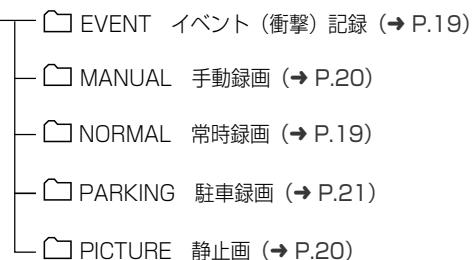
- microSDカード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。DRIVE REVIEWERで正しくファイルが再生できなくなります。
- SYSTEMフォルダはファイルの位置情報などが含まれています。SYSTEMフォルダだけ削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。
- REARフォルダはリアカメラ（別売）取り付け時にリアカメラで録画したファイルが録画の種類ごとに保存されます。

ルート (microSDカード内)



■ ファイル名の表記について

YYMMDDhhmmss.MP4
 年 月 日 時 分 秒



スマートフォンアプリを使う

本機とスマートフォンアプリを使って Wi-Fi 接続することで以下の機能が使えます。

- 録画ファイルの再生
- 本機の設定の変更
- ライブ映像を見る

インストールする

App Store または Google Play で「withDR」を検索してインストールしてください。

動作環境

OS	iOS 10.3以降、11、12 Android 6.0、7.0、7.1、8.0、9.0
その他	インターネット接続環境が必要です。

お知らせ

- スマートフォンアプリを起動して本機と Wi-Fi 接続するとドライブレコーダーの録画が停止します。スマートフォンアプリを終了すると録画を再開します。
- スマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにしてお使いください。操作方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 以下の条件では Wi-Fi 接続ができません。
 - 本機の電源がオフの場合
 - GPS が受信できない場合
 - 走行した場合
 - 本機に microSD カードが挿入されていない場合
 - スマートフォンアプリを使用中に電話の発着信があった場合
- スマートフォンアプリの説明で使われている画像は主に Android での画面となります。
- リアカメラの映像は、リアカメラ（別売）取り付け時に録画された映像です。
- 建物の陰などで操作して感度が悪い場合は、車が見える位置に移動することで電波が届くことがあります。
- スマートフォンアプリは停車中の車内操作を想定していますが、車外でも操作できる場合があります。また、車内においても以下の場合は本機との Wi-Fi 接続ができない場合があります。
 - 無線機、ノートパソコンなど、周辺に Wi-Fi 接続に影響を与える機器があるとき
 - 本体が金属物に触れたり覆われているとき

■ Wi-Fi の接続状態表示について



- : Wi-Fi 未接続
- : Wi-Fi 接続中

本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する

■ 準備：Wi-Fi 接続用初期パスワードを確認する

本書の裏表紙に貼ってあるラベルに記載の SSID と PASSWORD をご覧ください。
PASSWORD は Wi-Fi 接続用の初期パスワードになります。

お知らせ

- Android スマートフォンと iPhone は Wi-Fi を設定する方法が異なります。Android は「<Android> の場合」、iPhone は「<iPhone> の場合」に従って設定してください。
- 初めて接続する場合は、Wi-Fi 接続用パスワードの入力が必要です。接続が完了すると次回からはパスワードの入力は必要ありません。
- Wi-Fi 接続用パスワードは、専用スマートフォンアプリ「withDR」の設定で変更できます。Wi-Fi 接続用パスワードは、セキュリティ対策のため変更することを強くお勧めします。
- Android スマートフォンで、スマートフォンアプリの「設定」－「アプリ情報」－「ライセンス表示」でライセンスを表示すると Wi-Fi 接続は解除されます。
- スマートフォンの操作についてはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- Wi-Fi 接続は、エンジンスイッチがオンのときに接続できます。

〈Android〉の場合

お知らせ

- Android スマートフォンの場合は、Wi-Fi 設定画面で本機を選ばないでください。設定の方法は下記をご覧ください。
- Android の画面は機種によってボタンのレイアウトや表示が異なります。

1 スマートフォンアプリ「withDR」を起動する

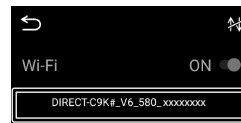
2 にタッチする



3 Wi-Fi の設定を「ON」にする



4 ラベルに記載の SSID 部に該当する「DIRECT-C9K1_V6_580_XXXXXXXX / DIRECT-C9KA_V6_580_XXXXXXXX」にタッチして本機と接続する



〈iPhone〉の場合

1 設定から、Wi-Fi 設定画面を表示して「Wi-Fi」設定を「オン」にする



2 「DIRECT-C9K1_V6_580_XXXXXXXX / DIRECT-C9KA_V6_580_XXXXXXXX」をタッチする



3 スマートフォンアプリ「withDR」を起動する

4 にタッチする



動画 / 静止画を再生する

本機で録画した動画、静止画を再生します。

お知らせ

- スマートフォンアプリで再生したファイルはスマートフォンで一時的に見るためのものであり、スマートフォンにファイルを保存しているものではありません。スマートフォンに録画ファイルを保存したい場合は、再生画面からファイルの保存操作を行ってください。
- ドライブレコーダー内のファイルは、本機とスマートフォンがWi-Fi接続しているときに再生できます。

リストから再生する

- 1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する
- 2 「ドライブレコーダー内」または「スマートフォン内」にタッチする
再生したいファイルがある方を選んでください。



- 3 再生したいファイルの種類（常時録画 / イベント記録 / 静止画）にタッチする
常時録画：常時録画ファイルが表示されます。



イベント記録：イベント（衝撃）記録ファイル / 駐車録画ファイル / 手動録画ファイルが表示されます。

静止画：静止画ファイルが表示されます。

- 4 再生したいファイルにタッチする



再生を開始します。

お知らせ

- 本機内のファイルを再生したい場合に、「ドライブレコーダー内」にタッチしてファイルを選ぶとダウンロードを開始します。ダウンロードが終わると再生を開始します。

地図から再生する

- 1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する
- 2 「ドライブレコーダー内」または「スマートフォン内」にタッチする
再生したいファイルがある方を選んでください。



- 3 「📍」にタッチする



- 4 再生したいファイルの種類（常時録画 / イベント記録 / 静止画）にタッチする
常時録画：常時録画ファイルが表示されます。



イベント記録：イベント（衝撃）記録ファイル / 駐車録画ファイル / 手動録画ファイルが表示されます。

静止画：静止画ファイルが表示されます。

録画された地点が地図上にアイコンで表示されます。
録画ファイルの数も表示されます。

- 5 再生したいファイルのアイコンにタッチする



再生を開始します。

録画ファイルが複数あった場合は、再生リストが表示されます。再生したいファイルにタッチすると再生を開始します。

お知らせ

- ・スマートフォンのモバイルデータ通信をオフにしていると地図が表示されません。
- ・本機内のファイルを再生したい場合に、「ドライブレコーダー内」にタッチしてファイルを選ぶとダウンロードを開始します。ダウンロードが終わると再生を開始します。

再生画面の操作

本機内のファイルを再生したときの再生画面



スマートフォン内のファイルを再生したときの再生画面



ボタン	説明
	スマートフォン内の再生中のファイルを削除します。タッチすると確認メッセージが表示されます。「はい」にタッチするとファイルが削除されます。本機内のファイルは削除できません。
	タッチしたときの静止画をスマートフォンの「写真」に保存します。
	表示方向を縦または横（全画面）に変更します。
	再生中のファイルを「写真」にコピーします。
	再生中のファイルをスマートフォン内にコピーします。タッチするとダウンロードを開始します。
	前 / 次のファイルを表示します。
	再生 / 一時停止します。
	動画情報の再生位置を示します。

再生するファイルを検索する

- 1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する
- 2 にタッチする



- 3 絞り込む条件を設定する


開始日時、終了日時、ファイル種別（全て / フロントカメラ映像のみ / リアカメラ映像のみ）で絞り込むことができます。



- 4 「決定」にタッチする

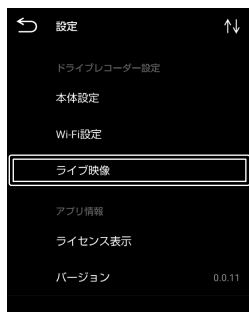
ライブで映像を見る

1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する

2 「」にタッチする





3 ドライブレコーダー設定の「ライブ映像」にタッチする



4 「フロントカメラ映像」または「リアカメラ映像」にタッチして、表示するカメラを選択する

本機のライブ映像を表示します。




ボタン	説明
 / 	表示方向を縦または横（全画面）に変更します。

スマートフォンアプリで設定を変更する

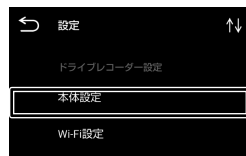
本機の設定を変更する

1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する

2 「」にタッチする



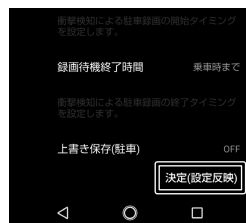
3 ドライブレコーダー設定の「本体設定」にタッチする



4 各設定を変更する



5 「決定（設定反映）」にタッチする



6 確認メッセージが表示されるので「はい」にタッチする

設定を本機へ転送します。

お知らせ

- スマートフォンアプリで設定を変更すると、本機の電源をオフにしたときに microSD カードに変更内容が書き込まれます。パソコン専用のビューアソフトで設定を確認する場合は、必ず本機の電源をオフにしてから microSD カードを抜いてパソコンに挿入し、パソコン専用のビューアソフトで確認してください。

■ 駐車録画の設定をする

「駐車録画設定」にタッチする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画時間	OFF/15 秒間 / 30 秒間 * / 1 分間	駐車録画の録画時間を設定します。「OFF」に設定すると駐車録画機能がオフになります。
録画待機開始時間	降車時から / 降車 30 秒後から * / 降車 1 分後から / 降車 3 分後から	駐車録画を開始する時間を設定します。
録画待機終了時間	乗車時まで / 乗車 30 秒前まで * / 乗車 1 分前まで / 乗車 3 分前まで	駐車録画機能を無効にしておく時間を設定します。
上書き保存 (駐車)	OFF/ON*	駐車録画の録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きをするかしないかを設定します。
感度設定 (駐車)	1/2/3*/4/5	駐車中の本機が衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)

■ 動画記録の設定をする

「動画記録設定」にタッチする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
動画画質	最高画質 (UXP) / 高画質 (XP) / 標準画質 (SP) * / 長時間画質 (LP)	常時録画、イベント (衝撃) 記録、手動録画、静止画記録、駐車録画の画質を設定します。(個別に画質の設定はできません。)
音声記録	OFF/ON*	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
上書き保存 (手動)	OFF/ON*	手動録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きをするかしないかを設定します。
上書き保存 (イベント)	OFF/ON*	イベント (衝撃) 記録ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きをするかしないかを設定します。
感度設定 (イベント)	1/2/3*/4/5	イベント (衝撃) 録画を開始するときの本機が衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)

■ システムの設定をする

「システム設定」にタッチする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
通知音量	OFF/1/2/3*/4/5	報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。

お知らせ

- ・ 音声エラー通知は音量を「OFF」に設定しても、通知音量「3」で音声出力します。

Wi-Fi 設定を変更する

Wi-Fi のパスワードを変更することができます。

パスワードの初期化はパソコン用の専用ビューアソフトでのみ初期化できます。(→ P.55)

1 専用スマートフォンアプリ「withDR」を起動する

2 「」をタッチする



3 ドライブレコーダー設定の「Wi-Fi 設定」をタッチする



4 現在のパスワードを入力する



5 新しいパスワードを入力する

6 確認のため、手順5と同じパスワードをもう一度入力する

7 「OK」にタッチする

Wi-Fi のパスワードが変更されます。

ビューアソフトを使う

パソコン用の専用ビューアソフト「DRIVE REVIEWER」では以下の機能が使えます。

- ・録画ファイルの再生
- ・本機の設定の変更
- ・ファイルのバックアップ

DRIVE REVIEWER の動作環境

Windows版	Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 10 mobileは除く
Mac版	Apple OS X 10.11 El Capitan ~ Apple macOS 10.14 Mojave
パソコンのスペック	CPU : Intel Core i3 2GHz 以上 フロント/リア同時再生時は Core i5(4コア) 2.5GHz以上推奨 メモリ : 2GB 以上 ディスプレイ : 1280×800 以上 サウンド : Windowsで使用可能なPCMサウンド再生機能

お知らせ

- ・地図表示機能を使用する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。
- ・ご使用のパソコンの環境によっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その場合は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。
- ・ご使用のパソコンの環境によっては、ファイルの再生ができない場合があります。

ビューアソフトをインストールする

Windows 版

- 1 microSD カードを本機から取り外し (→ P.16)、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 microSD カード内のインストーラー (Setup_B1-xx.msi) をパソコン内の任意の場所 (デスクトップなど) にコピーする
コピーしたインストーラーをダブルクリックする
- 3 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールする
ユーザーアカウント制御の警告が表示された場合は、[[はい]] をクリックしてください。
- 4 「完了」をクリックする
インストールが完了します。

Mac 版

- 1 microSD カードを本機から取り外し (→ P.16)、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 microSD カード内の DriveReviewer.app.zip をパソコン内の任意の場所 (デスクトップなど) にコピーする
- 3 コピーした zip ファイルをダブルクリックする
アプリケーションを実行する許可が必要なメッセージが表示されたときは実行を許可できるように Mac の設定を変更してください。

microSD カードのインストーラーを消去してしまったときは

microSD カードに保存されているビューアソフトのインストーラーをメモリーカードのフォーマットなどで消去してしまったときは、<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/mazda/dvr/c9k1/> にアクセスしてインストーラーをダウンロードすることができます。

アプリケーションを起動する

- 1 microSD カードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 起動する
Windows 10 の場合 : 「スタート」 - 「DRIVE REVIEWER B1」フォルダ - 「DRIVE REVIEWER B1」をクリックする
Mac の場合 : zip ファイルを展開してできた「DRIVE REVIEWER」をダブルクリックする

お知らせ

- ・DRIVE REVIEWER を使用するときは他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

Windows 版の操作

データを読み込む

- 1 microSD カードを接続しているドライブを指定する



映像が表示され再生が始まります。

画面の操作



お知らせ

- 小画面に表示される映像は⑥の再生ファイル選択ボタンで選んでいない方の映像を表示します。
- 小画面は、リアカメラ（別売）の映像が記録されていないと表示されません。

① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面中央、左上、右上、左下、右下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠 ① を拡大したい位置に動かして、拡大率 ② をクリックするたびに 1倍 / 2倍 / 3倍 / 4倍 / 5倍で拡大表示します。 [リセット] ③ を押すと等倍表示（1倍）になります。

② メニュー

ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml* にエクスポート	Google Earth プロに読み込むためのデータを出力します。
	選択して削除	ファイルを選択して削除します。
	プロテクト/プロテクト解除	ファイルをプロテクトします。/ファイルのプロテクトを解除します。
	バックアップ	データをバックアップします。
終了	ビューアソフトを終了します。	

*kmz ファイルまたは kml ファイルは Google Earth プロに読み込むためのデータです。

（ドライブ一覧）
microSD カードのドライブを選択します。

設定

本体設定	本機の設定を変更できます。変更した情報は microSD カードに設定ファイルとして書き込まれます。
------	--

ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④ トラックバー / 再生時間

動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:04/00:02:00

再生時間 / 総再生時間

⑤ 小画面表示ボタン

ボタン	説明
	③映像再生画面に小画面を表示しています。 クリックすると に切り替わり小画面を消します。
	③映像再生画面の小画面表示が消えています。 クリックすると に切り替わり③映像再生画面に小画面を表示します。

お知らせ

- リアカメラの映像がないときには操作できません。

⑥再生ファイル選択ボタン

選択されているボタンの映像が表示され、ボタンを押して切り替えます。

ボタン	説明
FRONT	①種類別一覧にフロントカメラの動画ファイルを表示しています。 ボタンを押すと REAR に切り替わり、リアカメラ（別売）のファイルを表示します。
REAR	①種類別一覧にリアカメラ（別売）の動画ファイルを表示しています。 クリックすると FRONT に切り替わり、フロントカメラのファイルを表示します。

お知らせ

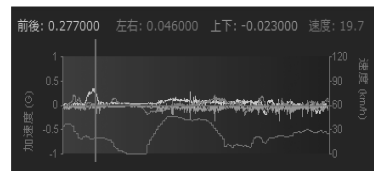
- ・リアカメラの映像がないときには操作できません。

⑦再生操作ボタン

ボタン	説明
	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画としてパソコン（任意の場所）に保存します。
	⑤小画面を表示していないときは、クリックするたびに X1・X2・X4・X8・X1/2 と再生速度が切り替わります。 ⑤小画面を表示しているときは、クリックするたびに X1・X2・X1/2 と再生速度が切り替わります。
	音量を調整（0～100）します。

⑧グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度（G）の大きさと速度の折れ線グラフです。



お知らせ

- ・表示している加速度（G）および速度は実際の加速度（G）及び速度と異なる場合があります。

⑨再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。

E:\NORMAL¥190315105612.MP4

⑩スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- ・録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0（ゼロ）になります。
- ・表示している車両速度はあくまで目安です。

⑪種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合：記録開始日時 / ファイルの格納場所
「イベント」の場合：記録開始日時 / イベント名

①ファイル

すべての動画ファイルの一覧を表示します。

②イベント

手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

③静止画

静止画ファイルの一覧を表示します。

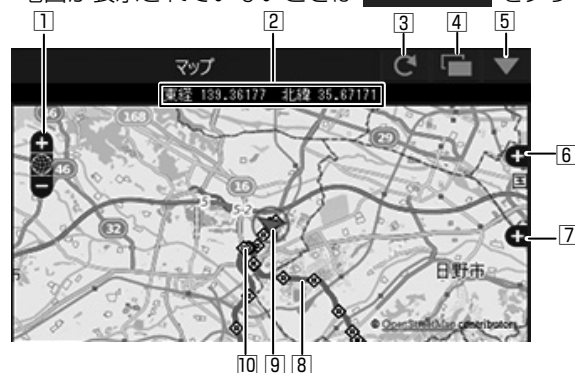
④ FRONT/REAR

FRONT/REAR のどちらの映像かを表示します。リアカメラの映像がないときには表示されません。

⑫地図表示ボタン

①種類別一覧の見たファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **マップ ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域地図を表示します。
- ⑧ 経路

2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

→ 1日目青 → 2日目赤 → 3日目緑 → 4日目白 → 5日目マゼンタ → 6日目水色 → 7日目黄色 ←

⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

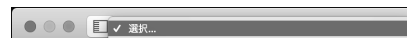
お知らせ

- microSD カードの容量 (常時録画) またはファイル数の制限 (手動録画、イベント (衝撃) 記録、駐車録画、静止画) によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行や GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できずに、地図上での自転車位置ずれや速度、経路の色が正しく表示されないことがあります。
- 地図を表示するには、インターネットに接続する必要があります。

Mac 版の操作

データを読み込む

1 microSD カードを接続しているドライブを指定する



映像が表示され再生が始まります。

画面の操作



①メニュー

Drive Reviewer

Drive Reviewer について	Drive Reviewer のバージョンが確認できます。
Drive Reviewer を終了	Drive Reviewer を終了します。

ファイル

新規ウィンドウ	現在の画面とは別に新規でアプリケーション画面を表示します。
フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
最近使った項目を開く	最近読み込んだデータを表示します。
kmz/kml* にエクスポート	Google Earth プロに読み込むためのデータを出力します。
ファイル保護 / ファイル保護解除	ファイルを保護します。 / ファイルの保護を解除します。
バックアップ	データをバックアップします。

*kmz ファイルまたは kml ファイルは Google Earth プロに読み込むためのデータです。

編集

削除	選択中のファイルを削除（ゴミ箱に移動）します。保護しているファイルは削除されません。
すべて選択	すべてのファイルを選択します。

ウィンドウ

本体設定	本機の設定を変更できます。変更した情報は microSD カードに設定ファイルとして書き込まれます。
------	--

ヘルプ

検索	メニューバー (Drive Reviewer、ファイル、編集、ウィンドウ) 内の項目を検索します。
----	---

②操作機能

再生している映像画面を拡大したり、再生速度を変更したりします。

ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面中央、左上、右上、左下、右下を拡大（2 倍）表示します。
	使用しません。
	クリックするたびに X1・X2・X4・X8・X1/2 と再生速度が切り替わります。
	クリックすると再生中の動画を静止画としてパソコン（任意の場所）に保存します。
	表示中の映像を縮小 / 拡大します。

③映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。左側がフロントカメラ、右側がリアカメラ（別売）の映像再生画面になります。

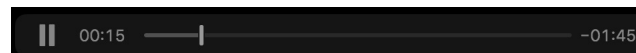


お知らせ

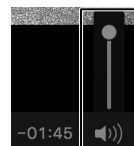
- ・フロントカメラのみの場合は、一画面で表示します。

④再生 / 一時停止ボタン / 再生時間 / トラックバー / 総再生時間 / 音量調整

フロントカメラ再生画面にのみ表示されます。映像再生画面にマウスカーソルを合わせると表示されます。



動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。



音量調整ボタンをクリックすると調整バーが表示され、バーを動かして音量を調整（0～100）します。



クリックするたびに再生と一時停止が切り替わります。

⑤グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度（G）の大きさと速度の折れ線グラフです。つまみをスライドさせると再生位置を変えることができます。



お知らせ

- ・表示している G 値および速度は実際の加速度（G）及び速度と異なる場合があります。

⑥スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- ・録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0（ゼロ）になります。
- ・表示している車両速度はあくまで目安です。

⑦種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



— ファイルの先頭位置の映像 / 記録開始日時

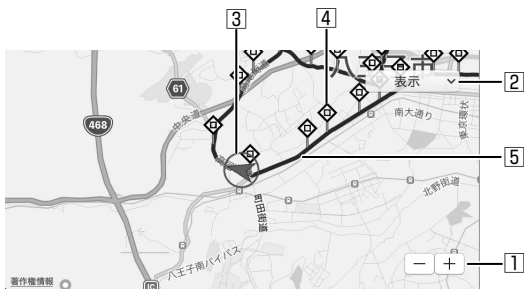
ファイル：すべての動画ファイルの一覧を表示します。

イベント：手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

写真：静止画ファイルの一覧を表示します。

⑧地図表示

選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 表示項目（経路 / 開始位置 / イベント / 現在位置）を選択できます。
- ③ 選択中のファイルの自車位置を表示します。
- ④ 各ファイルの先頭位置
クリックすると先頭位置が表示され「再生」をクリックすると再生します。
- ⑤ 走行した経路を表示します

お知らせ

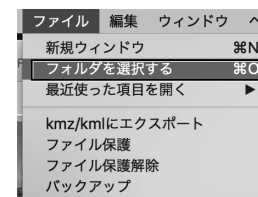
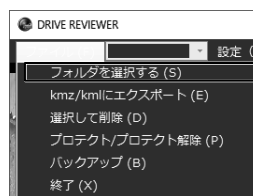
- microSD カードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画、静止画）によりファイルが上書きされます。上書きされた部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所の走行や GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、地図上での自車位置ずれや速度、経路が正しく表示されないことがあります。
- 地図を表示するには、インターネットに接続する必要があります。

Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む

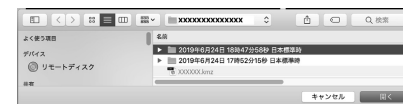
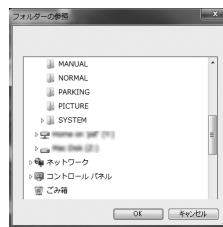
準備

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth プロ（パソコン用）をインストールしてください。Google Earth プロは、Google のサイトからダウンロードできます。

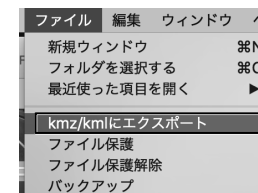
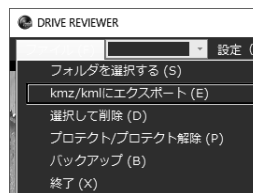
- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする
(Windows 版) (Mac 版)



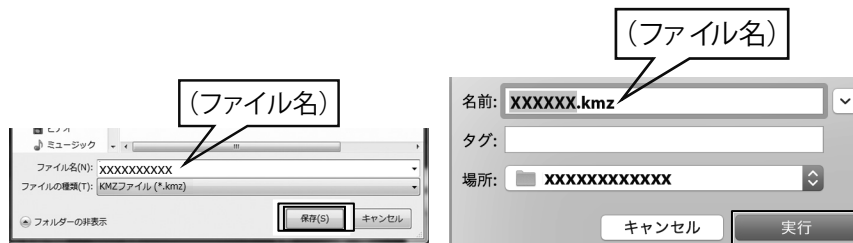
- 4 microSD カードの Google Earth プロで使用するデータを出力するデータのフォルダを選ぶ



- 5 メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



- 6 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



お知らせ

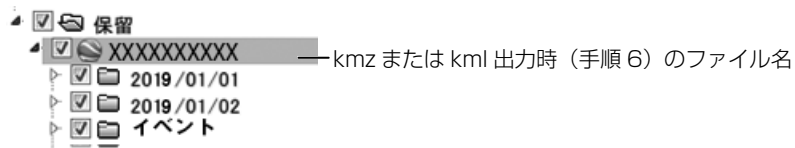
- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth プロで読み込むことができます。

7 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

8 Google Earth プロ (Google Earth Pro) を起動する

9 出力したファイルを開く

画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダの✓点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

お知らせ

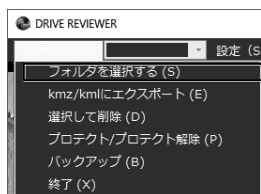
- Google Earth プロの操作については Google Earth プロのヘルプなどをご覧ください。

microSD カードのデータをパソコンにバックアップする

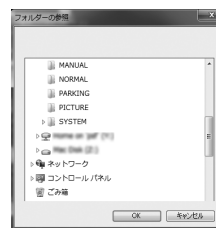
microSD カードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。microSD カード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使って microSD カードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付けたまま保存することができます。

バックアップする (Windows 版)

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



4 microSD カードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6 バックアップするファイルにチェックを付けて、「実行」をクリックする



ファイル

最初にはすべてのファイルに"✓"点が付いています。バックアップしないデータは"✓"点をクリックして選択を解除してください。

お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての"✓"点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに"✓"点が付きます。
- バックアップデータのフォルダ名はバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

7 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイビデオ」または「ビデオ」（ご使用のWindowsのバージョンによって異なります）に保存されます。

バックアップする (Mac版)

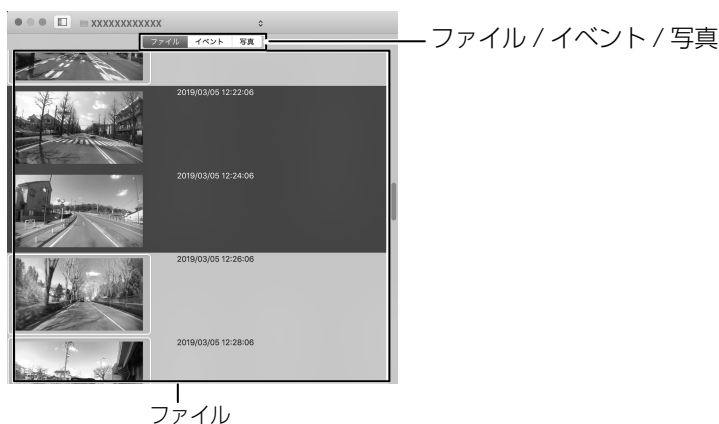
- microSDカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- ビューアソフトを起動する
- メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- microSDカードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



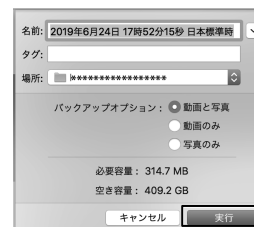
- ファイルまたは写真をクリックして、バックアップしたいファイルを選択する



- メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



- バックアップする保存先とバックアップオプションを選択して、「実行」をクリックする



動画と写真：選択した動画ファイルと全ての写真ファイルをバックアップします。

動画のみ：選択した動画ファイルをバックアップします。

写真のみ：全ての写真ファイルをバックアップします。

お知らせ

- バックアップデータのフォルダ名はバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。

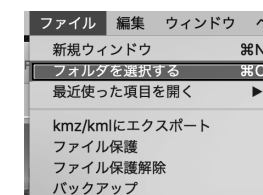
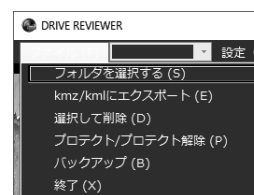
- メッセージが表示されたら「完了」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、再生中のデータが入っているフォルダに保存されます。

バックアップした映像を見る

- ビューアソフトを起動する
- メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする
(Windows版) (Mac版)



- バックアップしたフォルダを選ぶ
再生画面が表示され、動画ファイルを再生することができます。

microSD カードのデータを保護 / 保護解除する

お知らせ

- ・常時録画ファイルはデータの保護 / 保護解除ができません。

Windows 版

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「プロテクト/プロテクト解除」をクリックする



- 4 保護したい、または保護を解除したいファイルをクリックする



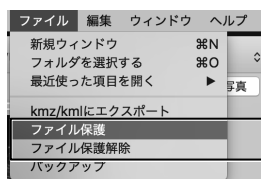
- 5 「終了」をクリックする

Mac 版

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 ファイルまたは写真をクリックして、保護したい、または保護を解除したいファイルを選択する



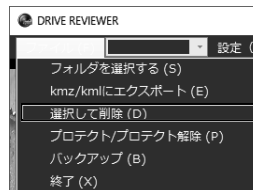
- 4 メニューの「ファイル」－「ファイル保護」または「ファイル保護解除」をクリックする



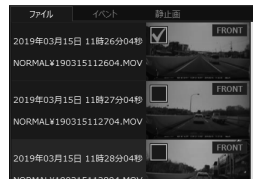
microSD カードのデータを削除する

Windows 版

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「選択して削除」をクリックする



- 4 削除したいファイルを選択し、「実行」をクリックする



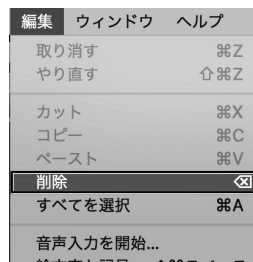
- 5 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

Mac 版

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 ファイルまたは写真をクリックして、削除したいファイルを選択する



- 4 メニューの「編集」－「削除」をクリックする



- 5 メッセージが表示されたら「OK」をクリックする

ビューアーソフトで設定を変更する

ビューアーソフトで本機の設定を変更することができます。変更した設定情報を microSD カードに保存します。

設定を保存した microSD カードを本機に挿入し、電源をオンにすると自動的に本機の設定が変更されます。

本機の設定を変更する

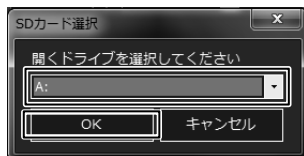
- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアーソフトを起動する
- 3 Windows 版：メニューの「設定」をクリックして、「本体設定」をクリックする



Mac 版：メニューの「ウィンドウ」をクリックして、「本体設定」をクリックする



- 4 Windows 版：microSD カードを接続しているドライブを指定して、「OK」をクリックする



Mac 版：リムーバブルディスクを指定して、「OK」をクリックする



- 5 各設定を変更する (53 ページ～ 56 ページ：画面は Windows 版で説明しています。)

- 6 「OK」をクリックする

設定情報が microSD カードに保存されます。

■ 駐車録画の設定をする

「駐車録画設定」をクリックする

*：お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画時間	OFF/15 秒間 / 30 秒間 */1 分間	駐車録画の録画時間を設定します。
録画待機開始時間	降車時から / 降車 30 秒後から * / 降車 1 分後から / 降車 3 分後から	降車時の駐車録画を開始するタイミングを設定します。
録画待機終了時間	乗車時まで / 乗車 30 秒前まで * / 乗車 1 分前まで / 乗車 3 分前まで	乗車時の駐車録画を終了するタイミングを設定します。
上書き保存	OFF/ON*	駐車録画の録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
感度設定	1/2/3*/4/5	駐車中の本機が衝撃を検出する感度を設定します。1 (大きな衝撃で検知します) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)



■ 動画記録の設定をする

*：お買い上げ時の設定

「動画記録設定」をクリックする

項目	設定	説明
動画画質	最高画質 (UXP) / 高画質 (XP) / 標準画質 (SP) */ 長時間画質 (LP)	常時録画、イベント (衝撃) 記録、手動録画、静止画、駐車録画の画質を設定します。(個別に画質の設定はできません。)
音声記録	OFF/ON*	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
上書き保存 (手動)	OFF/ON*	手動録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
上書き保存 (イベント)	OFF/ON*	イベント (衝撃) 記録ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
感度設定 (イベント)	1/2/3*/4/5	イベント (衝撃) 記録を開始するときの本機が衝撃を検出する感度を設定します。1 (大きな衝撃で検知します) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)



■ システムの設定をする

*：お買い上げ時の設定

「システム設定」をクリックする

項目	設定	説明
通知音量	OFF/1/2/3*/4/5	報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。



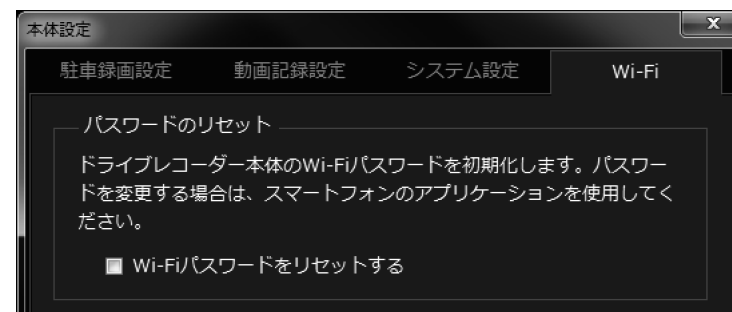
お知らせ

- 音声エラー通知は音量を「OFF」に設定しても、通知音量「3」で音声出力します。

■ Wi-Fi の設定をする

「Wi-Fi」をクリックする

項目	設定	説明
パスワードのリセット	—	チェックをありにすると、本機の Wi-Fi パスワードを初期化します。



お知らせ

- Wi-Fi パスワードの変更は、スマートフォンアプリ「withDR」で、変更します。(→ P.33)

設定した内容を初期化する

ビューアソフトで変更した設定をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

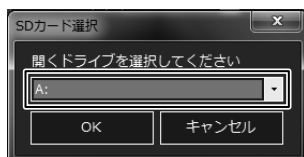
- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「設定」をクリックする



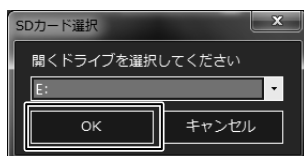
- 3 「本体設定」をクリックする



- 4 microSD カードを接続しているドライブを指定する



- 5 「OK」をクリックする



設定画面が表示されます。

- 6 「設定の初期化」をクリックする



「駐車録画設定」、「動画記録設定」、「システム設定」の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

microSD カードをフォーマットする

映像を再生したり、ファイルをバックアップしたりする際にエラーが表示される時は、microSD カードのデータが破損している可能性がありますので、microSD カードをフォーマットしてください。

専用サイトにアクセスしてフォーマットする

お知らせ

- 基本的に microSD カードのフォーマットは必要ありません。microSD カードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- パソコンに標準搭載の SD カードフォーマットは使用しないでください。
- microSD カードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
(1) ウェブブラウザを起動し、
専用サイト <https://www.kenwood.com/jp/products/oem/mazda/dvr/c9k1/> にアクセスします。
(2) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
(3) 記述されている手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 3 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアでフォーマットする

よくある質問

■ 本機

症状	原因 / 対処
記録した音声が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。 「音声記録」が「OFF」になっていないか確認してください。（音声 LED の場合は 12 ページ、スマートフォンアプリの場合は 32 ページ、パソコン用の専用ビューアソフトの場合は 54 ページ）
車両のエンジンスイッチをオンにしても LED が点灯しない、または電源が入らない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
ナビゲーションに本機の microSD カードを挿入して、映像が再生できますか。	本機で録画したファイルは専用のスマートフォンアプリ [withDR] (→ P.23) または専用のビューアソフト [DRIVE REVIEWER] (→ P.34) でのみ再生できます。ナビゲーションでの再生は保証できません。
報知音の音量が小さい。	本機の設定で「通知音量」を変更してください。（スマートフォンアプリの場合は 32 ページ、パソコン用の専用ビューアソフトの場合は 55 ページ）
1 ファイルの録画または記録時間を変更できますか。	駐車録画のみ 1 ファイルの録画時間を変更することができます。その他の録画モードでは、1 ファイルの録画または記録時間を変更することはできません。
録画または記録したはずの映像がありません。	本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD カードの記録可能時間や最大録画ファイル数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルがなくなることがあります。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。 「常時録画」と「静止画記録」以外は、上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときに最大録画ファイル数に達していると、それ以上の記録または録画は開始されません。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。	「動画記録設定」の「感度設定（イベント）」を現在の設定より小さい数字に設定してみてください。（スマートフォンアプリの場合は 32 ページ、パソコン用の専用ビューアソフトの場合は 54 ページ）
本機が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	動作温度範囲内での使用にて本体本機が熱くなることがあります。本機の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
録画された映像の信号機の色がわからない。	逆光など、環境によっては信号が確認できない場合があります。

症状	原因 / 対処
信号機の色が録画されない。	映像の録画周期と LED 信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えたようにみえる場合があります。
本機が起動しません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
駐車録画が動作しません。	<ul style="list-style-type: none"> 駐車録画設定の録画時間を「OFF」以外に設定してください。（スマートフォンアプリの場合は 32 ページ、パソコン用の専用ビューアソフトの場合は 53 ページ） 「録画待機終了時間」と「録画待機開始時間」の時間内であれば、駐車録画は動作しません。録画待機終了時間を「乗車時まで」に、録画待機開始時間を「降車時から」にしてください。 本体初期設定が正しく設定されていない場合は、駐車録画が動作しません。お買い上げの販売店にご相談ください。 電源スイッチで本体の電源をオフしている時に、車両のエンジンスイッチをオフすると、駐車録画は動作しません。
microSD カードに映像が記録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 付属の microSD カードを使用していない可能性があります。付属の microSD カードを必ず使用してください。市販の microSD カードは使用しないでください。 microSD カードに異常がある可能性があります。microSD カードのフォーマットを行ってください。（→ P.57）ただし、フォーマットをすると microSD カードデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。 付属の microSD カードを PC 以外の機器で使用してから本機で使用すると、本機で正しく動作しないことがあります。付属の microSD カードを本機と PC 以外の機器では絶対に使用しないでください。 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下げてください。保護機能が解除され、録画ができるようになります。
記録時間が短い。	常時録画以外の映像が多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、microSD カードに本機とは関係のないファイルが入っていると、記録領域が狭くなるため記録時間が短くなります。
録画または記録した映像が再生できない。	microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更すると、「DRIVE REVIEWER」で正しくファイルが再生できなくなります。
録画ファイルを再生すると数秒間極端に明るくまたは暗く表示された。	本機の電源をオンにした直後はこのように表示されることがあります。
リアカメラ（別売）の映像が記録されない。	お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ビューアソフト DRIVE REVIEWER

症状	原因 / 対処
イベント（衝撃）記録で録画された動画を再生した場合に、再生時間が20秒未満のものがある。	電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や、衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、20秒未満の映像になります。
記録した映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見えることはできますか？	専用のスマートフォンアプリ「withDR」または専用のビューアソフト「DRIVE REVIEWER」で再生してください。その他の再生ソフトでの再生は保証できません。
ビューアソフトを消してしまっただ。	専用サイトからインストーラーをダウンロードし、再度インストールしてください。（→ P.34）
パソコンにmicroSDカードを挿入しても認識しません。	microSDカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度microSDカードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターからmicroSDカードを取り出して、挿入しなおしてください。カードリーダーについては、カードリーダーに付属の説明書を参照してください。
ビューアソフトが起動しない。	ビューアソフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。
再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。	ファイルを読み込み直してください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音声記録の設定が「OFF」になっている可能性があります。また、ビューアソフトの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。 設定を変更しても音が出ない場合は、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われていないかご確認ください。
再生時に映像が乱れたり、音声途切れたりする。	ご使用中のパソコンの動作環境が推奨する動作環境を満たしているかご確認ください。（→ P.34）パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると、再生や音声途切れることがあります。
地図の自転車位置が実際とずれている。	電源を入れた直後の起動時やトンネル、高架下、ビル街などの走行時、GPS衛星の状態によってはGPSの情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。
速度が実際とずれている。	速度はGPSの情報から取得しており、電源を入れた直後の起動時やトンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
動画画質の最高画質（UXP）、高画質（XP）、標準画質（SP）、長時間画質（LP）の違いはなんですか？	最高画質（UXP）、高画質（XP）、標準画質（SP）、長時間画質（LP）の順に綺麗な画質で撮影できますが、録画できる時間が短くなります。

症状	原因 / 対処
スムーズに再生されない。	「DRIVE REVIEWER」の他にアプリケーションが起動している場合は他のアプリケーションを閉じてください。
グラフに加速度（G）と速度が表示されない。	電源がオンになっているときに、microSDカードを取り出した場合、加速度（G）と速度の情報が記録できないことがあります。
地図が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続していない。またはネットワークの回線状況が悪い。 電源がオンになっているときに、microSDカードを取り出した。

■ スマートフォンアプリ withDR

症状	原因 / 対処
本機とAndroidスマートフォンでWi-Fi接続ができません。	AndroidスマートフォンのWi-Fi Direct画面で、本書の裏表紙に貼ってあるラベルに記載のSSID部に該当する「DIRECT-C9K1_V6_580_XXXXXXXX / DIRECT-C9KA_V6_580_XXXXXXXX」を選択していることをご確認ください。スマートフォンの操作についてはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
本機とスマートフォンでWi-Fi接続ができません。	以下の条件ではWi-Fi接続ができません。 <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源がオフの場合 GPS信号が受信できない場合 走行した場合 本機にmicroSDカードが挿入されていない場合 スマートフォンアプリを使用中に電話の発着信があった場合 Wi-Fiのパスワードが間違っている場合
スマートフォンアプリで地図が表示されません。	モバイルデータ通信をオフにしていると地図が表示されません。モバイルデータ通信に問題がないかご確認ください。スマートフォンの操作についてはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

■ 音声エラー通知

音声ガイダンス	原因 / 対処
SD カードがありません※	microSD カードが入っていません。 本機の電源をオフにして付属の microSD カードを挿入してから電源をオンにしてください。
SD カードの初期化が必要 です※	microSD カードの初期化が必要な状態です。microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.57)
SD カードエラーです※	<ul style="list-style-type: none"> microSD カードが異常、または認識できない microSD カードを挿入しています。本機に付属の microSD カードを挿入しても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 録画、記録ファイルの最大件数または枚数を越えたファイルが microSD カードに保存されています。パソコン等で必要なファイルをバックアップしたうえで、microSD カードをフォーマットしてください。
録画を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> 本機の高温検知などの異常検出により録画を一時的に停止しました。温度が下がっても録画が再開されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 カメラの接続に異常があります。接続をご確認ください。
ドライブレコーダーに異常 があります※	本機に異常が発生しています。お買い上げの販売店にご相談ください。
本体初期設定が未実施です	本体初期設定が行われていません。この状態では、正しく動作しません。お買い上げの販売店にご相談ください。
衝撃検知を停止します (問題が解消されるまでは、 電源をオンにするたびに 1 回だけ通知されます。)	本機に触れてしまったり、落下したときなど、取り付け角度（設置角度）が変わってしまったときは、イベント（衝撃）記録の機能を停止します。お買い上げの販売店にご相談ください。 ただし、本機を設置した場所に戻せた場合は、「衝撃検知を再開します」と通知され、イベント記録の機能がはたらくようになります。
SD カードの交換推奨時期 です	microSD カードの寿命が近づいています。お買い上げの販売店で新しい microSD カードを購入し、本機で使用していた microSD カードと交換してください。

※ エンジンスイッチを ACC またはオンにしたときに音声ガイダンスが流れ、3 分後も症状が改善されていない場合は、再度通知します。

主な仕様

■ 本機

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃
サイズ (W × H × D)	W 約 68mm × H 約 25mm × D 約 103mm
質量	約 125g (ケーブル、SD カード含まず)
電源電圧 (動作電圧範囲)	14V (8.5 ~ 16V)
最大消費電流	470mA (14V) 570mA (14V/ 別売のリアカメラ接続時)
G センサー	内蔵 (- 4.0G ~ + 4.0G : 5 段階)
GPS アンテナ	内蔵
記録媒体	microSD カード (16GB p-SLC)

■ カメラ・記録

映像素子	1/2.8 型カラー CMOS センサー
有効画素数	213 万画素
撮影画角	水平 124° × 垂直 68°
記録フレーム数	27fps
画像サイズ	最高画質 (UXP) : FULL HD (1920 × 1080) 高画質 (XP) : FULL HD (1920 × 1080) 標準画質 (SP) : FULL HD (1920 × 1080) 長時間画質 (LP) : HD (1280 × 720)
記録フォーマット	動画 : MP4 (映像 : H.264 音声 : AAC) 静止画 : JPEG
HDR	○ (ON 固定)、リアカメラ (別売) : ×

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要なお知らせ 本製品のソフトウェアライセンスについて

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction. First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32}+X^{26}+X^{23}+X^{22}+X^{16}+X^{12}+X^{11}+X^{10}+X^8+X^7+X^5+X^4+X^2+X+1$

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction. First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32}+X^{26}+X^{23}+X^{22}+X^{16}+X^{12}+X^{11}+X^{10}+X^8+X^7+X^5+X^4+X^2+X+1$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^{31} term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly

The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updrc" logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial Sedcb88320 CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

GPSD

BSD LICENSE

The GPSD code is Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 by Remco Treffkorn. Portions of it are also Copyright (c) 2005 by Eric S. Raymond. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:<P>
Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.<P>

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.<P>

Neither name of the GPSD project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

linux kernel bandwidth busybox dnsmasq

wireless_tools

88w8801

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification.") Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole to no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

**ffmpeg
libnl
live555**

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]
Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License--are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

libjpeg-turbo ffmpeg

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2012, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

iperf

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois All Rights Reserved.

Iperf performance test
Mark Gates
Ajay Tirumala
Jim Ferguson
Jon Dugan
Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
http://www.ncsa.uiuc.edu

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

iw

Copyright (c) 2007, 2008 Johannes Berg
Copyright (c) 2007 Andy Lutomirski
Copyright (c) 2007 Mike Kershaw
Copyright (c) 2008-2009 Luis R. Rodriguez

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

json-c

Copyright (c) 2009-2012 Eric Haszlkiewicz

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libev

All files in libev are
Copyright (c) 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013 Marc Alexander Lehmann.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Alternatively, the contents of this package may be used under the terms of the GNU General Public License ("GPL") version 2 or any later version, in which case the provisions of the GPL are applicable instead of the above. If you wish to allow the use of your version of this package only under the terms of the GPL and not to allow others to use your version of this file under the BSD license, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the GPL in this and the other files of this package. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the BSD or the GPL.

libtirpc

Copyright (c) Copyright (c) Bull S.A. 2005 All Rights Reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ncurses

Copyright (c) 1998-2010, 2011 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

openssl

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
=====

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

rpcbind

Copyright (c) Copyright (c) Bull S.A. 2005 All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

strace

Copyright (c) 1991, 1992 Paul Kranenburg <pk@cs.few.eur.nl>

Copyright (c) 1993 Branko Lankester <branko@hacktic.nl>

Copyright (c) 1993 Ulrich Pegelow <pegelow@moorea.uni-muenster.de>

Copyright (c) 1995, 1996 Michael Elizabeth Chastain <mec@duracef.shout.net>

Copyright (c) 1993, 1994, 1995, 1996 Rick Sladkey <jrs@world.std.com>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Slid: COPYRIGHT,v 1.1.1.1 1999/02/19 00:21:36 wichert Exp \$

wpa_supplicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2015, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This package may include either wpa_supplicant, hostapd, or both. See README file respective subdirectories (wpa_supplicant/README or hostapd/README) for more details.

Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplicant or hostapd) and creating build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib

ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

(C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file Changelog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

libjpeg-turbo

Most of libjpeg-turbo inherits the non-restrictive, BSD-style license used by libjpeg (see README.) The TurboJPEG wrapper (both C and Java versions) and associated test programs bear a similar license, which is reproduced below:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オープンソースソフトウェアについて

本機および、ビューアソフトには、ソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。
<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/mazda/dvr/c9k1/>

About Open Source Software included in the viewer software

This unit and the viewer software include software licensed under open source software license requiring the distribution of source code.

The source code of these software can be downloaded from the website below,
<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/mazda/dvr/c9k1/>

商標 / ライセンス

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、Mac、OS X、macOS、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- 「Android™」 および 「Google™」、「Google Play™」、「Google Earth™」 は Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- microSDHC、および microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合
 詳細については、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。
<https://www.mpegla.com/>



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

本機の保証期間はマツダ純正用品保証書に記載されている登録日または取付日より3年または、走行距離 60,000km です。

修理を依頼されるときは

「よくある質問」(→ P.58) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

また、本機の操作方法については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846

(ディーラーオプション専用窓口)

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12



PASSWORD は Wi-Fi 接続用の初期パスワードです。